

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	環境技術開発センター運営事業	会計	一般会計	事業No.	495	施策順No.	11-055
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-5-13-2		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	工業課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	14	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	起業、研究開発に取り組む意欲のある者。飯田市環境技術開発センター入居企業。入居企業の研究開発担当者。					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない		
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度		23年度	
	意図	新しい研究開発の技術、技能を身につける。入居企業同士が交流し、技術を高め合う。企業の担っている技術をさらに高める。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標		22年度実績	23年度目標
		・入居企業数		5	5	5	6		
		・入居企業の研究者・技術者数		10	9	15	15		
		・新規創業者数	0	0	1	2	2	2	A
		・新製品、新事業数	2	3	3	3	3	3	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		三遠南信連携における地域雇用創造事業の新規取り組みもあり、新規創業者数、新製品・新事業ともに目標値に達することができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	研究開発のシンボル施設を活用し、起業や研究開発を支援する支援担当者を中心に大学、研究機関、地場産業振興センターや工業技術センター等の連携を図り、入居者や地域の企業との研究開発、共同研究を支援する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 新規入居者の募集・PR活動の実施 2 インキュベート委員会の開催と相談・支援の実施 3 工業技術センターを核とした技術、解析、分析等の有機的支援 4 補助金を活用してのPR活動を行い、新規テーマの掘り起こしと起業家育成の実施 5 三遠南信連携における地域雇用創造事業のサポート	1 新規入居企業数 2 委員会開催数 3 支援・イベント開催回数	1 1社 2 2回 3 1回
23年度実施計画	1 新規入居者の募集・PR活動の実施 2 インキュベート委員会の開催と相談・支援の実施 3 工業技術センターを核とした技術、解析、分析等の有機的支援 4 三遠南信連携における地域雇用創造事業のサポート 5 県内のインキュベーションセンターの情報交換より得られたノウハウを活用して、新起業家育成のためのカリキュラムを構築 6 金融政策室との連携による新分野進出、起業支援 7 起業家、入居企業による成果発表会の実施	1 新規入居企業数 2 委員会開催数 3 支援・イベント開催回数	1 1社 2 2回 3 1回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		7,770	7,590	7,709		
計 (A)		7,770	7,590	7,709		
正規職員所要時間			100			
臨時職員等所要時間			1,000			
人件費計 (B)			1,433			
トータルコスト A+B			9,023			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・事業成果について検証するとともに、入居期間や公募方法等を含め事業内容の改善を図られたい。(H19 産業経済委員会 議会提言より) ・すべての取り組みにおいて「環境」の視点をもって取り組まれたい。(平成20年度 産業経済委員会) ・市民から見て事業成果がわかりにくく、情報不足と思われる。(平成21年度 産業経済委員会 決算認定提言書) ・事業成果を検証するとともに、検証結果及び事業の進捗状況、入居企業の取り組みなど、積極的な情報公開に努められたい。(平成21年度 産業経済委員会 決算認定提言)
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	・研究開発の強化により、新製品・新分野への展開に繋げ、結果として事業者が売上・収益を増加させることになる。		
	後期に向けた課題	・新規創業者の入居が少なく、創業者希望者が育つ環境作りが必要となっている。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・年度の当初、途中でインキュベーター委員会を開催し、研究の進捗・結果や今後の研究開発の内容・問題点等の課題に対するヒアリングを行い、各インキュベーター委員からの適切なアドバイス・支援を展開しています。 ・入居企業者の研究成果を広く知ってもらうために、隔年年度末に研究成果発表会を開催した。		
	後期に向けた課題	・インキュベーター委員メンバーの再検討。 ・新規創業者専用の支援メニューの再構築。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・維持管理費を含めて、入札企業の変更や入札企業数を増やすことで費用削減につながる工夫した。また、経費も必要最低限に抑える様に努力した。		
	後期に向けた課題	・保守、維持管理費を抑える建物及び周辺の仕様(外壁・舗装 等)の検討と実施。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・受益者は、入居企業、新規創業者であり、賃借料は無料となっているが、共通エリアに関する共益費は受益者均等負担となっている。		
	後期に向けた課題	・近年の他施設の状況分析を実施していないので、県内外のインキュベーター施設の状況を調査し、負担内容の適切性を確認する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	①主体は企業や個人で、企業は新製品開発や技術の高度化をめざし、個人では起業活動に取り組んでいる。 ②行政は、研究開発を行うための環境を整えながら、研究活動支援を行っている。		
	後期に向けた課題	・地域内企業の第二創業に期待し、重点的に募集を行い入居率を向上させ、新製品・新分野展開につながる支援の実施。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・入居企業は、ほぼ満室に近く入居しており、新製品開発件数も一定数の実績が得られた。しかし、新事業展開が始まった企業さんも、市場環境の変化や企業トップの方針転換により継続が難しくなった内容もある。また、完成した新製品も、市場要求の内容からずれているために思った様に売上増につながらないこともあり、次のステージも考える段階になってきている。		
	後期に向けた課題	・県内インキュベーション施設は、どれも軒並み入居率が低下傾向になっており、近年の不況と直近の震災の影響で更に低下しないかと心配されている。今までと異なる新テーマ・新規創業者掘り起こしを如何に行っていくかが重要になってくる。そのために、県内のインキュベーション施設間の情報交換・交流会を通じ、施設間の問題点の共有を行い、新たな戦略を立てたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--